

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 大学院学生共同研究室の情報環境の充実を図るため、2010年度を目標にパソコンを5台増設する。	→PC等の設備・機器の整備状況。	A
2. 教員共同研究室の情報環境の充実のため、2010年度を目標にパソコンを2台増設する。	→PC等の設備・機器の整備状況。	B
3. 学生の学外での研究活動を促進するため、学会発表に関わる交通費補助制度を拡充する。	→学会活動支援制度の制定、実施。	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目9.0.4	(方針) 予算を確保しつつ、院生・教員の研究環境の維持・改善に努める。 (現状説明) 2008年4月、G号館が新たに建設されたことにもない、本研究科の院生の研究、成果発表や読書会などにも利用し得る多目的スペースとしての学生共同研究室や教員共同研究室が設置されたことは評価できる。学生共同研究室には2008年度にデスクトップパソコンを5台設置したが、2010年度春には院生・教員を対象に貸出用ノート型パソコン5台を購入し、大いに利用されている。
☆ その他	院生の学会発表(全国的規模以上)に対する交通費補助制度については、2010年度春に補助条件を拡大した(1人につき年度内1回→2回)。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項

☆ 小項目9.0.4	2010年度春の貸出用ノート型パソコン5台の購入により、院生・教員の研究を支援する環境が改善された。
☆ その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

☆ 小項目9.0.4	今後も貸出用ノート型パソコンを増やしていく。
☆ その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
★ 小項目9.0.4	
★ その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
★ 小項目9.0.4	
★ その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○教育研究用の設備・機器の一層の充実が期待されます。

【学内委員】

○教育研究を支援する環境の効果や改善に関する記述は、パソコンに関するものに限定されおり、十分でない印象を受けます。
○2006年度の認証評価により共同研究室、語学学修施設の「助言」を受けましたが、G号館へ移ったことにより解決しました。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

9.0.0.S1	個人研究費・研究旅費の額
9.0.0.S2	留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況
9.0.0.S5	科研費の申請・採択件数
9.0.0.S6	学外からの研究費の総額と一人当たりの額
9.0.0.S11	専任教員の発表論文数
9.0.0.S13	学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数
9.0.0.S14	21世紀COEプログラムの採択状況
9.0.0.S15	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
9.0.0.S16	特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
9.0.0.S18	校地、校舎、講義室・演習室等の面積
9.0.0.S21	教室の種別数と使用率
9.0.0.S22	PC設置台数
9.0.0.S23	研究設備(文科省補助、学院購入)の整備状況
9.0.0.S24	シャトルバスの利用状況

<個別的な指標>
